

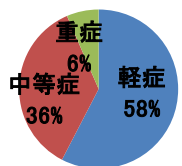
■ 断らない医療を目指した体制作り

急性期病院では救急車で搬送された患者さんの受入と治療を主に担います。救急応需率は救急隊からの患者受入要請に応えた（応需）比率を示し、搬送件数は実際に荻窪病院へ搬送された患者さんの件数を示しております。

応需率において 2.3%、搬送件数において 15%程件数が増加致しました。この結果は近隣の消防署、救急隊との連携や渉外活動を地域連携室が推進している事と、常勤・非常勤を問わず医師が急患を断らない体制作りと月次に実施する部署の責任者会議でも常に数値を確認する管理体制が寄与しております。

軽症から中等症の受入が多く主な病名はめまい、意識障害、過喚起症候群、感染性腸炎、心筋梗塞など多数の症例に対応しています。

症状別受入比率
(2015年度)



「東京都 CCU ネットワーク」と「東京都急性大動脈スーパーネットワーク緊急大動脈重点病院」に加盟しており内科系・外科系心疾患に 24 時間対応できる体制を構築しております。

CCUネットワーク
搬送件数

